

# 15 の実例から迫る、成功する海外 M&A のエッセンス

～DD から PMI まで、ケース・メソッドで、各プロセスを徹底分析～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年 11月 28日(木) 14:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《開催にあたって》

海外 M&A は、リスクが高く失敗が多いとされます。こうした海外 M&A を成功させるにはどうすれば良いでしょうか。今回は、厳選した 15 の実例に基づき、この難問に挑みます。本講義の目的は、次の二点に凝縮されます。第一に、選りすぐりの事例に基づく臨場感のある考察を通じ、抽象論では終わらない、実務的なノウハウをお伝えします。第二に、DD、競争法、CFIUS、契約、PMI といった海外 M&A で欠かせない分野を漏れなくカバーし、関連する法制度・契約実務について分かり易く解説します。本講義を通じ、海外 M&A の実務について、具体的・網羅的に、理解していただくと確信しています。

講師 日比谷中田法律事務所 弁護士、ニューヨーク州弁護士 関口 尊成 氏

講師紹介 04年東京大学法学部卒業、06年明治大学法科大学院卒業、07年弁護士登録、08年西村あさひ法律事務所入所、15年コロンビア大学ロースクール修士課程修了、16年ニューヨーク州弁護士登録、19年より日比谷中田法律事務所。16～18年まで金融庁証券取引等監視委員会に出席。取扱分野は、M&A(日本企業による海外企業の買収、国内会社の買収)、買収ファイナンス、コンプライアンス、金融業規制、危機管理、争訟。

《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。 企業研究会Q 検索

受講料: 1名( 税込・資料代含 ) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(O発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	35,200円(本体価格 32,000円)	一般	38,500円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191741-0303 (※) 15 の実例から迫る、成功する海外 M&A のエッセンス			
ふりがな 会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	役 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛 E-mail からもお申込み頂けます。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会 HP にてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])  
※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail: tamiaki@bri.or.jp  
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

## ・プログラム・

### 1. 買収後に巨額の不正会計 (700 億円以上の損失隠蔽) が発覚 (中国)

・新興国/不正リスク、オークション案件の注意点、中国企業の二重帳簿・三重帳簿問題、買収後 DD の活用、不正会計と SESC 課徴金調査

### 2. 買収後に米国向け製品の輸出が禁止され、巨額の特別損失 (約 3,540 億円) を計上 (印)

・新興国/不正リスク、想像をはるかに超える製品管理の杜撰さ (工場の窓が割れ、ハエが飛ぶ)、Site visit (現地往査) の重要性

### 3. 偽造印紙による巨額脱税を行っていた対象会社の買収 (比)

・新興国/不正リスク、資産譲渡によるカーブアウト (リスクの切り離し) 手法

### 4. 買収後にタックス・ヘイブン税制関連で巨額 (約 939 億円) の申告漏れが発覚 (星、BER)

・税務 DD で見落とされがちなタックス・ヘイブン税制

### 5. 環境リスクがディール・キラーとなり、対象会社の買収を断念 (米)

・ディール・キラーとなる環境リスク、環境 DD

### 6. 優等生銀行で次々と不祥事が発覚 (もし同銀行を買収していたら…) (米)

・ノルマ重視によるモラル崩壊、コンプラ DD における新しい視点: コンダクトリスク

### 7. 買収後にカルテルが発覚、巨額 (3 億 7,000 万ユーロ) の制裁金 (英)

・日本よりも厳格なカルテル規制 (日本の感覚だと痛い目を見る)、競争当局にどう対応するか (違反従業員への雇用継続など思いよらぬ要求も)

### 8. 競争法の事前届出義務の回避行為につき、欧州委員会から制裁金 (欧州)

・競争法上のグローバル・ファイリング、年々厳しくなるガン・ジャンピング規制 (サイニング後にも関わらずマネジメントの契約条件の開示を止められたことも)

### 9. 競争当局審査のため、問題解消措置を余儀なくされ、スケジュールが遅延 (米)

・競争法審査実務、リスクヘッジ方法 (Reverse Breakup Fee など)

### 10. CFIUS の承認が得られず、子会社の売却条件がとん挫 (伊)

・CFIUS の最新動向、住宅建材を扱う (安全保障に関わりなさそうな) 会社の売却が CFIUS の承認を得られなかった理由は何か? チャイナ・リスク以外にも意外な理由が

### 11. 買収後に売主の表明保証違反が発覚したが、表明保証保険により一部損害を補填 (新)

・売り手の資力のリスクヘッジ (二段階買収、分割払い、エスクロー、表明保証保険) 表明保証保険の実務 (ブローカー選定の重要性、付保内容・付保手続・請求方法)

### 12. アーンアウトの好例 (米、英)

・Valuation (特に実務家の共通理解となっているエクイティ・ブリッジの考え方について)、デッド・ライク・アイテム、契約方式 (Completion account, Locked box)、買収価格で折合わない場合のソリューションとしてのアーンアウト

### 13. 合弁契約締結 20 年後に、条項の解釈の対立が先鋭化 (米)

・合弁契約の要素 (「取引利益」「戦略的利益」「反射的利益」)、ドラフティングの注意点、合弁会社の連結子会社化を妨げる会計上の新たな論点

### 14. PMI におけるシナジーの定量化管理の試みの好例 (米)

・シナジー効果の定量化、高値掴みを避けるために

### 15. 買収後のオペレーションで、インサイダー取引が発生 (ISR)

・インサイダー取引と SESC 課徴金調査、買収後のコンプライアンス (インサイダー、汚職、競争法、知的財産管理など)、グローバルでの内部管理規程・内部通報制度整備の考え方

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2 種類のセミナーをご案内しております。